

平成25年8月30日
国土交通省
佐伯河川国道事務所

平成25年度佐伯河川国道事務所 防災訓練を実施します ～大規模地震や津波災害を想定～

佐伯河川国道事務所では、今回、内閣府の有識者会議より南海トラフ地震発生に伴う被害想定が公表されたことを受け、『南海トラフ地震の発生で最大クラスの津波が押し寄せ、番匠川の一部堤防が崩壊し事務所庁舎も津波により浸水するなど佐伯市内が甚大な被害を受け、また国道10号や国道57号で法面崩壊や落石が発生した』との想定のもと、下記のとおり防災訓練を実施します。

- ・ 大規模津波からの避難訓練
- ・ 災害対策支部及び初動体制確立訓練
- ・ 関係機関への情報伝達訓練
- ・ 地震による被災箇所の応急復旧訓練
- ・ 津波による被害を受けた佐伯市内の道路啓開訓練

※道路啓開とは、瓦礫等の障害を取り除き道を切り開くことです。

1. 日 時 平成25年9月2日（月）7時00分～15時00分
2. 実施場所 国土交通省佐伯河川国道事務所 3F 防災情報室
住所：佐伯市長島町4丁目14-14
電話：0972-22-1880（代表）
3. 訓練内容 別紙訓練概要参照
4. 取 材 公開（取材時間は、10：00～12：00でお願いします。）
5. その他 台風、大雨、地震等により訓練を中止する場合があります。

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 佐伯河川国道事務所

TEL：0972-22-1880

【河川】技術副所長 田中 満昭（内線204）
調査第一課長 眞矢 誠一郎（内線351）
【道路】技術副所長 浅井 博海（内線205）
道路管理課長 桜井 敏郎（内線431）

H 2 5 防災訓練想定シナリオ（予定）

7 : 0 0 地震・津波発生：南海トラフ地震発生（事務所管内：最大震度 6 強）
大津波警報発令（津波到着時間 3 0 分後）

情報伝達訓練

津波からの避難訓練（職員が避難場所へ避難）

職員、家族等の安否確認

7 : 3 0 津波到着：佐伯市街部に津波到着、甚大な浸水被害発生

8 : 0 0 大津波警報解除

事務所 3 F 情報防災室にて災害対策本部を立ち上げ・初動体制確立

国道 1 0 号で法面崩壊、国道 5 7 号で落石が発生→全面通行止め
番匠川の堤防の一部が崩壊

災害時協定協力業者へ出動要請

佐伯市内の道路状況把握

1 0 : 0 0 ~ 復旧工法検討・迂回路検討
災害復旧のための資機材調達
災害時協定協力業者による復旧作業開始
浸水箇所への排水ポンプ車派遣
通信訓練

1 1 : 0 0 道路啓開方針の立案・協定業者へ啓開作業を要請

1 2 : 0 0 被災箇所の片側車線確保
佐伯市内の啓開作業開始

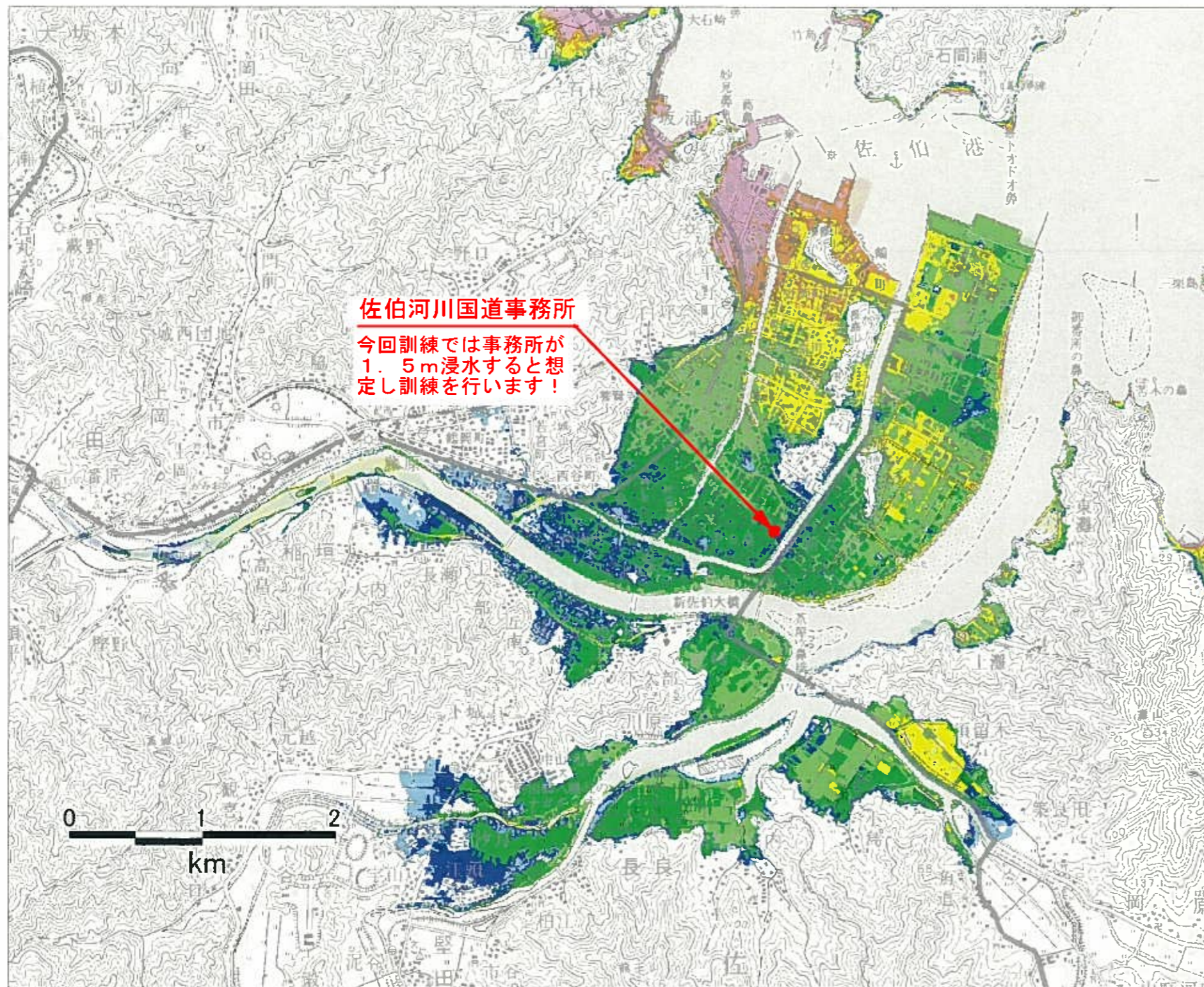
1 3 : 0 0 他事務所等からの災害支援車両到着

1 4 : 5 0 応急復旧工事完了（法面崩壊箇所、落石箇所、堤防崩壊箇所）
佐伯市内の道路啓開作業完了

1 5 : 0 0 国道 1 0 号、5 7 号、佐伯市内の道路→全面交通解放、訓練終了

※大分県ホームページより

作図範囲:8



大分県 津波による浸水予測図
 実際の地震発生時には、この浸水予測図よりも広い範囲で津波の浸水が生じる可能性があります。

発生確率は、次のとおり(地震調査研究推進本部公表)

○南海トラフの海溝型地震

領域または地震名	発生確率(%)		特記事項
	30年以内	50年以内	
東南海地震	70%程度	90%程度もしくはそれ以上	大津波を伴う地震が、約300~400年と約700年の間隔で発生したと推定される。(直近は1707年の宝永地震)
南海地震	60%程度	90%程度	

○活断層型地震

活断層名	発生確率		特記事項	
	30年以内	100年以内		
別府湾-日出生断層帯(東部)	別府湾断層帯	ほぼ0	ほぼ0~0.005	別府湾を震源とする地震として、1596年の慶長壱後地震があるが、発生メカニズムは、引き続き検討が必要である。
大分平野-由布院断層帯(東部)	別府地溝南縁断層帯	0.03~4	0.2~10	
周防灘断層群(主部)		2~4	7~10	

＜想定震源＞：南海トラフの地震
 ＜初期潮位＞：朔望平均満潮位
 ＜堤防条件＞：堤防が機能しない

作図範囲

最大浸水深(m)

0m以上 - 0.5m未満
0.5m以上 - 1m未満
1m以上 - 2m未満
2m以上 - 3m未満
3m以上 - 4m未満
4m以上 - 5m未満
5m以上 - 10m未満
10m以上 - 15m未満

『この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 24 情複、第 496 号)』